

# 令和5年度事業報告

## 1 事業総括

### (1) 概要

本年度は、青谷かみじち史跡公園を除く8施設の次期指定管理者募集が行われた年であった。応募に向けて、外部コンサルタントによる支援の活用、業務提携等関係者との協議、事業計画の磨き上げ等、当財団一丸となって準備を進め、全8施設について指定管理者に指定された。先立って令和4年度末に指定管理者候補者に選定されていた「青谷かみじち史跡公園」については、建物等枯らし期間によって開園時期がずれ込んだが、諸課題に対応し、令和6年3月24日に開園させることができた。

本年度の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが令和5年5月8日に5類に移行し、行動制限などは行われなくなったことから人流が戻るとともに、コロナ禍以前と同様の規模で各事業を実施することができ、集客につながり全施設利用者数が前年度対比115%に増加した。

営業においては、花回廊、梨記念館を中心に台湾や韓国でのインバウンド営業を行った。水際対策の緩和等によって急速に増加しているインバウンド需要に対して、ニーズをとらえた取り組みを行って外国人観光客を呼び込み、更なる集客につなげていかなければならない。一方で、日本人観光客が求めるニーズの多様化に対しても情報収集及び情報発信の向上とともに、関係機関とも緊密に連携して対応していく必要がある。

組織内の取り組みとしては、業務効率化のためDXを推進しており、梨記念館では通販サイトシステムの改善により事務の効率化と梨販売の売上アップに顕著な効果があった。一方、勤怠管理などの事務分野では、システム操作やデータ利活用スキルの向上や、業務フローの整理によって効果を一層高めることが課題である。

各施設の連携に関しては、オンラインで経営本部会議を毎月開催し、経営状況の把握と分析を行い、サービス及び施設の効用の向上、収支状況の改善に取り組んだ。総務調整会議、集客担当者会議などを通じて各分野の効率的な事務の推進と情報共有を図った。

職員の処遇改善に関しては、物価高騰等の影響を考慮して令和5年度から一部職種の賃金ベースアップを実施したところであるが、長年未対応だったプロパー職員をはじめ残りの職種も含め、更なる処遇改善のため、令和6年度からのベースアップを決定した。更に、スタッフ等について、勤続年数による賃金加算制度、勤務評価を賃金額に反映する制度を取り入れることとした。今後も、人材確保と職員の定着のため、処遇及び労働環境の改善に取り組んでいくことが必要である。

このほか、組織として取り組んでいる環境配慮活動について、鳥取県版環境管理システム(T E A S) 審査登録制度において、より高度な規格であるI種取得に取り組み認定された。

### (2) 受託施設の利用状況

本年度の利用者数は1,288,282人で、前年度との比較で115%、目標に対しては92%となった。全体としてはコロナ前の水準への回復にはまだ及ばないが、従前の大型イベントや各種団体と連携した事業を再開することができ、一部の施設では元年度を上回るなど改善傾向を感じる事ができた。

こどもの国は、50周年記念事業に合わせて新遊具の供用を開始し、令和元年度対比119%とコロナ前を上回った。かにかっこ館は、地元関係団体との共同イベント等で連携を強化し地元

客の増加につなげたほか、体験水槽購入に向けたクラウドファンディングに挑戦し、目標額を達成、注目を集めた。響の森は、周辺施設の指定管理者と連携協定を提携し、広報・営業の強化に取り組んでいる。臨海公園は、スケートパークやドッグラン等施設の特長を活用したイベントを実施し、利用者増につなげた。燕趙園は、夏季イベント実施によるほか、団体利用者が回復傾向にあり利用者数は元年度対比でも増加した。梨記念館では、人気の高い食べ比べをはじめとするイベントを通常開催できたことで利用者増につなげたほか、外国人観光客が急激に回復傾向となった。夢みなとタワーは、春休みの大型イベントを単独開催で臨み、集客増、収益増につなげたほか、日本海新聞との夏の連携イベントを中高年層にも訴求した内容で実施した結果、年間の利用者数は令和元年度の水準を超えた。とっとり花回廊は、「牧野富太郎展」など話題をとらえた展示に新たに取り組んだほか、米子高専との共同研究によってイルミネーションにAI技術を取り入れるなど新たな魅力づくりを行い、利用者の満足度向上につなげた。

(総利用者数)

| 施設名         | 令和5年度     |           | 令和4年度実績<br>C | 達成率<br>B/A | 前年対比<br>B/C |
|-------------|-----------|-----------|--------------|------------|-------------|
|             | 目標(人) A   | 実績(人) B   |              |            |             |
| 鳥取砂丘こどもの国   | 160,000   | 181,911   | 139,517      | 113.7%     | 130.4%      |
| とっとり賀露かにっこ館 | 225,000   | 190,895   | 178,388      | 84.8%      | 107.0%      |
| 青谷かみじち史跡公園  | 1,500     | 3,036     | -            | 202.4%     | -           |
| 氷ノ山自然ふれあい館  | 47,000    | 36,802    | 45,106       | 78.3%      | 81.6%       |
| 東郷湖羽合臨海公園   | 324,000   | 306,528   | 248,396      | 94.6%      | 123.4%      |
| 中国庭園燕趙園     | 65,000    | 61,147    | 59,388       | 94.1%      | 103.0%      |
| 鳥取二十世紀梨記念館  | 115,000   | 127,650   | 101,944      | 111.0%     | 125.2%      |
| 夢みなとタワー     | 100,000   | 122,398   | 72,540       | 122.4%     | 168.7%      |
| とっとり花回廊     | 350,000   | 257,942   | 267,131      | 73.7%      | 96.6%       |
| 合計          | 1,387,500 | 1,288,309 | 1,112,410    | 92.9%      | 115.8%      |

(3) 収支状況

①最終予算額との対比

正味財産増減額については、2月補正予算時に全体で61,348千円程度の赤字を見込んでいたが、最終的に23,859千円の赤字となった。

収入は全体で1,773,413千円、支出は全体で1,784,548千円であったが、経常外費用の部において、夢みなとタワーのテナントの破産処理に伴う貸倒損失13,744千円があった。

②令和4年度決算額との対比

収入は全体で52,276千円の増加、支出は全体で116,933千円増加した。青谷かみじち史跡公園の開園前準備業務の受託等により収入、支出とも増加したほか、収入はコロナ関連の補助金がなくなりその他収入が減少したものの、利用者の増加に伴い収益事業収入が増加した。支出の増の主な要因は、消費税額が増加したほか、実施イベント等がコロナ禍前の規模に戻ったことによる集客促進費の増、価格高騰による燃料費、光熱水費の増、材料費の増、また利用者増による売店仕入れ費の増が上げられる。

正味財産増減額については昨年度は54,224千円の黒字であったが、78,083千円減少し、23,859千円の赤字となった。

(決算総括表)

(単位：千円)

| 区分      | 科目    | 当初予算      | 最終見込      | R5 決算     | R4 決算     | 対最終      | 対前年      |
|---------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|
|         |       |           | A         | B         | C         | B-A      | B-C      |
| 収入      | 受託収入  | 1,161,312 | 1,107,899 | 1,108,235 | 1,086,382 | 336      | 21,853   |
|         | 事業収入  | 701,057   | 647,218   | 653,770   | 566,504   | 6,552    | 87,266   |
|         | その他収入 | 2,582     | 11,730    | 11,408    | 68,252    | △ 322    | △ 56,844 |
|         | 計     | 1,864,951 | 1,766,847 | 1,773,413 | 1,721,138 | 6,566    | 52,276   |
| 支出      | 管理費   | 1,462,733 | 1,416,920 | 1,395,545 | 1,314,714 | △ 21,375 | 80,831   |
|         | 事業費   | 402,218   | 398,551   | 389,003   | 352,901   | △ 9,548  | 36,102   |
|         | 計     | 1,864,951 | 1,815,471 | 1,784,548 | 1,667,615 | △ 30,923 | 116,933  |
| 経常増減額   |       | 0         | △ 48,624  | △ 11,135  | 53,523    | 37,489   | △ 64,658 |
| 経常外増減額  |       | 0         | △ 12,724  | △ 12,724  | 701       | 0        | △ 13,424 |
| 正味財産増減額 |       | 0         | △ 61,348  | △ 23,859  | 54,224    | 37,489   | △ 78,083 |

(注：端数処理により合計と内訳の計は必ずしも一致しない)

## 2 鳥取県からの指定管理者受託業務

### (1) 受託施設

- ア. 鳥取県立鳥取砂丘こどもの国
- イ. 鳥取県立とっとり賀露かっこ館
- ウ. 青谷かみじち史跡公園 (㈱チュウブとの共同運営)
- エ. 鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館
- オ. 鳥取県立東郷湖羽合臨海公園 (引地地区を除く。)(㈱チュウブとの共同運営)
- カ. 鳥取県立東郷湖羽合臨海公園 (引地地区に限る。)
- キ. 鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館
- ク. 鳥取県立夢みなとタワー
- ケ. 鳥取県立とっとり花回廊

### (2) 受託業務

- ア. 受託施設に係る利用・集客促進に関すること
- イ. 受託施設の維持管理に関すること
- ウ. 受託施設の料金等の徴収に関すること
- エ. 受託施設の利用者等に対する供用上の指導等に関すること
- オ. その他、受託施設に付帯する事務に関すること

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 鳥取砂丘こどもの国 】

### 1 事業概要

|  |   |
|--|---|
| <p>(主な取り組み)</p> <p><b>(1)花の丘造成、花壇整備</b><br/>5年度はひまわりを展開、夏に楽しんでいただく。また50周年を華やかに迎えるよう駐車場周辺と園内に花壇を整備する。</p> <p><b>(2)ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備</b><br/>樹林地に木製アスレチック遊具を設置。5基目。樹林地での遊びイベントで利活用を図る。</p> <p><b>(3)星空イベントについて</b><br/>50周年イヤーに、かつてあったプラネタリウムを思い出してもらい、子どもには新たな楽しみを体験してもらう。</p> <p><b>(4)真夏のスケートイベント</b><br/>お盆期間に樹脂製スケートリンクを設置し、夏期に珍しい体験イベント。</p> <p><b>(5)こどもの国50周年記念フェスタ</b><br/>50周年イヤーのPR・周知を図るための記念イベントを、四半期ごとに実施する。各種団体との連携イベント、動物関連、食、子育てイベントの開催を計画。</p> <p><b>(6)SDGs砂丘クリーンウォーク</b><br/>砂丘海岸線の漂着ゴミの回収。合わせて、砂丘ガイドに砂丘についての歴史等学ぶウォーキングイベントを開催。参加者と一緒にSDGsに取り組む。</p> | <p>(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)</p> <p><b>1 花の丘造成について</b><br/>花の丘はひまわりの植栽を行ったが灌水を行ったが猛暑により生育不良となった。</p> <p><b>2 ぼうけんアスレチックコースの新設及び樹林地整備について</b><br/>ぼうけんアスレチック遊具付近にて虫の観察会を実施。園内の樹林地の活用とともに自然環境の中でのぼうけんアスレチック遊具のPRにもつながった。</p> <p><b>3 真夏のスケートイベントについて</b><br/>50周年事業の1つである段ボール遊具で遊ぼうを多目的ホールで実施したためイベント会場重複により開催を見送った。</p> <p><b>4 星空イベントについて</b><br/>上映30分程度のモバイルプラネタリウムを1日5回上映。講師の丁寧な解説に参加者は満足した様子がかがえた。親子の思い出作りになるとともに、子どもが星の名前や星座について知るきっかけになった。</p> <p><b>5 こどもの国50周年記念フェスタについて</b><br/>四半期を通してイベントを開催。4月 キャラショー、5月 50周年記念式典、6月 マルコラ 7月 動物村、9月 はたらく自動車がやってくるなど集客力のあるイベントを年間通じて開催した。</p> <p><b>6 SDGs砂丘クリーンウォーク</b><br/>熱中症予防のため開催場所を砂丘海岸線から園内に変更。9月に「梨の季節クイズラリー」を梨記念館の協力を得て開催。鳥取県名産の梨を題材にしたもので難易度は高かったが梨のプレゼントもあり県内はもとより県外客にも好評を得た。</p> |
|--|---|

### 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区 分             | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A    | 18,000 | 30,000 | 13,000 | 14,000 | 28,000 | 13,000 | 12,000 | 10,000 | 3,000  | 3,000  | 3,000  | 13,000 | 160,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 19,140 | 28,623 | 17,879 | 13,509 | 21,906 | 14,008 | 18,362 | 13,142 | 5,216  | 6,126  | 8,548  | 15,452 | 181,911 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 106.3% | 95.4%  | 137.5% | 96.5%  | 78.2%  | 107.8% | 153.0% | 131.4% | 173.9% | 204.2% | 284.9% | 118.9% | 113.7%  |
| 令和4年度実績(人) D    | 13,605 | 27,198 | 7,095  | 9,694  | 19,020 | 12,117 | 14,334 | 13,469 | 3,010  | 2,853  | 4,282  | 12,840 | 139,517 |
| 対3年度比率(%) E=B/D | 140.7% | 105.2% | 252.0% | 139.4% | 115.2% | 115.6% | 128.1% | 97.6%  | 173.3% | 214.7% | 199.6% | 120.3% | 130.4%  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| <p>入園者の推移、増減要因</p> | <p><b>1 入園者の推移</b><br/>対前年 4月～10月・12～3月 増<br/>11月 減(R4大型イベント「マルコラ開催」)<br/>通算 42,394人増</p> <p><b>2 増減要因</b><br/>4月: 50周年プレイベントキャラショー開催により増、5月: 50周年記念式典・新遊具営業開始により増、その他もコロナの影響が少なくなり利用者大幅増。<br/>11月: R4は大型イベントマルコラを開催(R5は6月にイベント開催)</p> |
|--------------------|--|

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 とっとり賀露かっこ館 】

### 1 事業概要

|  |  |
|--|--|
| <p>(主な取り組み)</p> <p><b>1 サービスの向上に向けた取り組み</b></p> <p>①コロナ禍の休止から、実施方法を見直し再開させた生き物タッチングをメンテナンスによる休止日を除き毎日開催した(水温が低下する冬季は休止)。<br/>         ②売店商品としてぬいぐるみくじを導入した。<br/>         ③えさやり体験、生き物タッチングで使用する水槽の更新資金を集めるため、クラウドファンディングに挑戦した。</p> <p><b>2 利用促進に向けた取り組み</b></p> <p>①開館20周年を迎え、カウンタダウンボードの設置やプレゼント企画、記念式典の実施、ノベルティ風船の配布など関連事業に取り組んだ。<br/>         ②「海」「魚」「カニ」をキーワードにしたワークショップや物販が集う「かっこマルシェ」を春・秋の2回開催した。<br/>         ③SNSを活用して生き物の動画等を継続的に配信しフォロワー等の増加に繋がった。<br/>         (Xフォロワー昨年より140%増)</p> <p><b>3 地域・事業団施設との連携</b></p> <p>①食のみやこ鳥取県大漁収穫感謝祭実行委員会事務局担当として、わったいな、鳥取県と連携して4年ぶりに大漁収穫感謝祭を開催した。<br/>         ②鳥取・賀露みなとオアシスと共同で、カヌー体験・モルック大会・イルミネーション等を実施した。また賀露町民祭にてアンケートを実施した。<br/>         ③事業団施設などの集客施設において出前かっこ館および出前ワークショップを実施した他、ガイナレ鳥取ホームゲーム会場において工作ブースを出店した。</p> | <p>(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)</p> <p><b>1 サービスの向上に向けた取り組み</b></p> <p>①えさやりと工作イベントを除いた参加料収入は前年比の3倍となった。③で挙げるクラウドファンディングにより水槽設備を向上させることで、より充実した体験メニューを効率良く提供していく。<br/>         ②当初はかにのぬいぐるみのみだったが、欠品もあり様々な種類のぬいぐるみを導入し売店営業収入は前年比228%となった。<br/>         ③250万円の目標額に対して、290万円近い支援があった。また、CFプラットフォームの利用により、かっこ館の露出を高めることができたほか、かっこ館の初めての挑戦として地元を中心とした各メディアやネット記事でも広く取り上げてもらうことができた。</p> <p><b>2 利用促進に向けた取り組み</b></p> <p>①ウエルカニキャンペーン10周年を記念したカニバーサリ事業とも連携し、20周年に関しては報道などに取り上げられ、多少の反響はあったが大きな入館者増にはつながらなかった(4~8月入館者前年比108%)。プレゼント企画についても人気のあるグッズとそうでないものとの差が大きく、こちらも入館者の増につながったとは言い難かった。<br/>         ②マリニピアで開催の大型イベントに比べれば参加者は少なかったが、労力も少なく出店団体(4団体)もSNS等でPRしてもらえるのでかっこ館のPRにつながっている。また出店者の評判も良くWinWinの関係が作れている。<br/>         ③SNSによる動画配信等が注目されており、中には42万回表示された投稿もあった。注目された投稿は全国ネット情報番組でも取り上げられるなど、大きな反響に繋がった。館内アンケートの結果から来館につながっていると推測されることから継続しつつ、今後はSNSイベント等も実施しさらなるフォロワーの獲得を目指す。</p> <p><b>3 地域・事業団施設との連携</b></p> <p>①来場者が少なく大きな課題が残った(前回実施のR1年度比50%)。人気の出店ブース集めが必要と実行委員で確認し、現在、出店業者の声掛けを行っている。<br/>         ②地元の関係団体との共同イベントや、賀露町民祭でのアンケート実施などを行い、地元対策を行ったことで、地元からの集客が伸びてきたと思われる。今後は引き続き地元の関係団体と良い関係を保ちながら地元対策を行いつつ、観光事業団本部とも連携して、県外からの集客対策を行っていく。<br/>         ③出前かっこ館などの利用者に対し館の魅力をPRすることができた。またガイナレのホームゲームにおいては、県外からのサポーターにPRを行うことができた。</p> |
|--|--|

### 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区 分             | 4月  | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|-----------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A    | 15,800  | 19,300 | 14,600 | 20,000 | 31,000 | 16,200 | 16,200 | 16,900 | 12,200 | 10,300 | 6,800  | 15,700 | 195,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 14,177  | 18,860 | 11,820 | 21,343 | 29,202 | 15,909 | 15,338 | 14,751 | 11,934 | 11,653 | 11,494 | 14,414 | 190,895 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 89.7%   | 97.7%  | 81.0%  | 106.7% | 94.2%  | 98.2%  | 94.7%  | 87.3%  | 97.8%  | 113.1% | 169.0% | 91.8%  | 97.9%   |
| 令和4年度実績(人) D    | 12,414  | 17,652 | 12,483 | 19,698 | 26,416 | 15,454 | 13,129 | 14,753 | 10,726 | 10,820 | 9,744  | 15,099 | 178,388 |
| 対4年度比率(%) E=B/D | 114.2%  | 106.8% | 94.7%  | 108.4% | 110.6% | 102.9% | 116.8% | 100.0% | 111.3% | 107.7% | 118.0% | 95.5%  | 107.0%  |
| 入館者の推移、増減要因     | <p><b>【入園者の推移】</b><br/>           対前年比 107.0% 対目標比97.9%</p> <p><b>【要因】</b><br/>           ・コロナ明けで県外増、地元団体との連携イベント等の対策により地元客増。<br/>           ・秋、周辺で「せいきょうまつり」や「防災フェス」等のイベントにより増。<br/>           ・団体客を中心に近隣施設(特にこどもの国)へ入館者が流れていると思われる。</p> |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |         |

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 青谷かみじち史跡公園 】

### 1 事業概要

(主な取り組み)

#### 1 円滑な運営開始に向けた体制づくり

- ①事務局本部内に準備室を開設し職員4名を配属(兼務3名、新規採用1名)
- ②県や再委託先との調整を行いながら、運営開始に向けた契約手続きなどを行った。
- ③新規スタッフの採用、の研修、意見交換などを行い、人員体制を整えた。

#### 2 開園前準備業務の受託

開園延期による指定管理開始時期の変更(令和6年3月1日開始)により、令和6年2月29日までの期間で、開園前準備業務を鳥取県より受託した。

開園前であり、指定管理業務委ではないため、限定的な仕様による管理となった。

- ①広報物・WEBサイト等の制作・・・ポスター・チラシ・ガイドブック・WEBサイトなど
- ②施設管理業務・・・館内清掃・美観維持施工、空調設備、消防設備等
- ③植栽管理業務・・・公園内植栽管理、湿地の維持管理等
- ④その他開園に関する告知等・・・開園に向けての広報等

#### 3 令和6年3月24日開園

令和6年3月1日に指定管理を開始、同3月24日に開園した。

(主な取り組みに対する結果等)

#### 1 円滑な移行に向けた体制づくり

新規スタッフとともに、鳥取県・市をはじめ関係先からの協力をうけ、円滑にスタートを切ることができた。

#### 2 開園前準備業務の受託

- ①広報物・WEBサイト等の制作・・・全体として滞りなく業務を行った。  
また、仕様になかったロゴの制作やセカンドロゴデザインの制作なども実施した。
- ②施設管理業務・・・館内清掃・美観維持施工、空調設備、消防設備等を計画的に実施した。  
館内美観維持は自主施工を行い、全職員の美観維持意識の向上にも取り組んだ。  
結果(清掃しにくいので)床にものを置かない等、意識向上が図れた。
- ③植栽管理業務・・・公園内植栽管理、湿地の維持管理等  
鳥取県と調整しながら、維持管理を行った。園内の予想以上の雑草木の繁茂、不陸等マイナスからのスタートとなったが、(株)チュウブの技術力とスケールメリットにより乗り越えることができた。また、県との協議の上、デッドスペースを造成して発掘体験ひろばとして整備を行った。
- ④その他開園に関する告知等・・・開園に向けての広報等(類似施設、観光施設、教育機関等への周知)、チラシの作成・折込、動画広告等を実施

#### 3 令和6年3月24日開園

開園初日に1,525名、3月末までに累計3,032名の入園者を迎え、好調なスタートを切れた。

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 氷ノ山自然ふれあい館 】

### 1 事業概要

|  |  |
|--|--|
| <p>(主な取り組み)</p> <p><b>1 次期指定管理の応募に向けた取り組み</b></p> <p>①これまでの取り組みを分析し、募集要項を踏まえて、今後5年間に取り組むことを事業計画及び収支計画にまとめた。</p> <p><b>2 自然体験プログラム等の充実</b></p> <p>①イヌワシホール等を利用した各種展示会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み企画展「お天気展覧会」や秋の企画展「ヤマネの森の物語」を開催した。</li> </ul> <p>②新規プログラムへの取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つく米地区の棚田にて、田植えや稲刈り等の農業体験を行う「棚田プロジェクト」を、地元の方や行政と連携して取り組んだ。</li> </ul> <p><b>2 利用促進に向けた取り組み</b></p> <p>①売店にてヤマネぬいぐるみマグネット等の商品数を増やし、売上増に取り組んだ。</p> <p>②神戸新聞に冬季プログラムの新聞広告やフォトコンテスト作品展の記事掲載を行い、兵庫県向けにPRした。</p> <p>③大山町で開催されたモンベルフレンドフェアや鳥取空港での生物多様性フォーラムに出展し、施設のPRを行った。</p> <p><b>3 地域、団体等との連携</b></p> <p>①キャンプ場や氷太くんの指定管理者となった中一&amp;スマイルカンパニー株式会社と連携協定を提携し、広報や営業を協力して取り組んだ。</p> <p>②実行委員会の事務局として「わかさ氷ノ山・山フェス」の開催に取り組んだ。</p> <p><b>4 環境に配慮した事業活動への取り組み</b></p> <p>①鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS) I種規格の認定に取り組んだ。</p> <p>②日本チョウ類保全協会の活動に協力し、チョウのモニタリング調査を行った。</p> <p><b>5 施設の安全管理</b></p> <p>①イベント、施設管理等マニュアルによる安全管理。館内を点検し修繕や所管課への報告</p> | <p>(主な取組に対する結果の評価及び課題と対応方針)</p> <p><b>1 次期指定管理の応募に向けた取り組み</b></p> <p>①事業計画書及び収支計画書による書類審査、面接審査を経て次期指定管理者に選定された。</p> <p><b>2 自然体験プログラム等の充実</b></p> <p>①夏休みと秋の企画展の参加者数は、それぞれ2,530人(対前年比80%)と3,271人(対前年比97%)。空や雲を通して気象や防災、地球温暖化について考えてもらったり、ヤマネの生態や保全活動等を知ってもらったりする機会となった。</p> <p>②田植え、除草、稲刈りと開催し、延べ38人の参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫祭を響の森で開催し、棚田米のおにぎり作りや稲わらを用いた創作体験、農政局のブース出展等を行い、48人の参加があった。</li> </ul> <p><b>2 利用促進に向けた取り組み</b></p> <p>①10月からの取り扱いだったが、売店収入は年間で前年度対比133%となった。</p> <p>②スノーシューハイクへの申し込みや作品展への観覧がある等、効果があった。</p> <p>③創作体験を実施するとともに施設やプログラムをPRした。</p> <p><b>3 地域、団体等との連携</b></p> <p>①キャンプ場ホームページにてエコツアーの紹介し、またスノーシューハイクモニターツアーを開催した。</p> <p>②ステージイベント開催日は多数の参加があり、入込数1,173人(前年比96%)。今後も関係団体等と連携し取り組む。</p> <p><b>4 環境に配慮した事業活動への取り組み</b></p> <p>①鳥取県版環境管理システム審査登録制度(TEAS) I種規格の認定取得。</p> <p>②週1回程度響の森からスキー場の範囲でチョウの出現数を調べ、全国組織の会合で成果を発表した。</p> <p><b>5 施設の安全管理</b></p> <p>①安心してイベント等を楽しんで頂く。小修繕は職員で行って修繕必要箇所や危険箇所を把握。</p> |
|--|--|

### 2 利用者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区 分             | 4月    | 5月     | 6月     | 7月    | 8月    | 9月     | 10月   | 11月    | 12月   | 1月    | 2月     | 3月     | 計      |
|-----------------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 令和5年度目標(人) A    | 3,500 | 12,600 | 4,200  | 4,400 | 6,000 | 2,700  | 8,200 | 2,800  | 500   | 750   | 750    | 600    | 47,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 2,022 | 7,195  | 4,687  | 3,382 | 4,314 | 2,647  | 6,102 | 3,002  | 368   | 651   | 1,200  | 1,232  | 36,802 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 57.8% | 57.1%  | 111.6% | 76.9% | 71.9% | 98.0%  | 74.4% | 107.2% | 73.6% | 86.8% | 160.0% | 205.3% | 78.3%  |
| 令和4年度実績(人) D    | 3,593 | 12,407 | 4,062  | 4,297 | 5,130 | 2,254  | 7,970 | 2,786  | 436   | 784   | 891    | 496    | 45,106 |
| 対4年度比率(%) E=B/D | 56.3% | 58.0%  | 115.4% | 78.7% | 84.1% | 117.4% | 76.6% | 107.8% | 84.4% | 83.0% | 134.7% | 248.4% | 81.6%  |

|                    |   |
|--------------------|---|
| <p>利用者の推移、増減要因</p> | <p>(1)利用者増の時期及びその要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月…利用する学校数の回復及び出前等様々な利用形態による増。11月…オンラインスクール実施や団体利用の時期の違いによる増。</li> <li>2、3月…暖冬少雪によりイベント開催は半減したが、フォトコンテスト作品展開催による観覧者や調査の事例発表、講座への出前出演による参加者の増。</li> </ul> <p>(2)利用者減の時期及びその要因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GW…イベント参加者数のカウント方法の変更による減。夏休み…猛暑による出控え及び盆時期の台風による臨時閉館による減。</li> <li>10月…オンラインスクール実施や団体利用の時期の違いによる減。12、1月…暖冬少雪による雪遊び来館者やイベント参加者の減。</li> </ul> |
|--------------------|---|

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 東郷湖羽合臨海公園 】

### 1 事業概要

|   |  |
|---|--|
| <p>(主な取り組み)</p> <p><b>(1)公園施設の特長を活用したイベントの実施</b><br/>         はわいスケートパーク、ドッグランなど他の近隣の公園にはない特長ある施設を活かしたイベントを実施して、施設の周知、利用促進につなげる。<br/>         トパークを利用したスケボー教室、大会の実施<br/>         を利用した 犬のマナー教室等の実施<br/>         「バタフライガーデン」での観察会、園芸作業体験の実施</p> <p><b>2 公園づくり事業</b><br/>         藤津地区あやめ池公園駐車場の整備による駐車台数の確保と、長和田地区の未活用地の整地による臨時駐車場等で活用できるスペースを整備</p> <p><b>3 ウォーキングの実施</b><br/>         コロナ禍により休止していた年2回のウォーキング大会を開催。また令和3年度から始めたSDGsクリーンウォークも継続して実施するなどウォーキングの普及に貢献する。</p> <p><b>4 共同企業体との連携事業</b><br/>         日常の公園管理をはじめ、イベント実施時にも連携して取り組む公園づくり事業の推進により、公園の魅力向上に資する。</p> <p><b>5 湯梨浜町及び周辺施設との連携事業</b><br/>         ①湯梨浜町 「宙ユリ」の開花の報告を湯梨浜町の町報等で紹介いただいた。<br/>         ガstroノミー、天女ウォーク、ベテラン卓球大会等町の主催事業に協力。<br/>         ②燕趙園との連携 秋と春の燕趙園内で協力してイベントを実施</p> | <p>(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)</p> <p><b>(1)公園施設の特長を活用したイベントの実施</b><br/>         スケートパークでは、愛好団体と共催し教室を4月と6月の2回実施し普及に貢献。10月にはプロのスケートボーダーを招聘し、フリーマーケット、ダンスステージや飲食を絡めたイベントを実施し1200人が来場。日程が地域の大型催事と重複したため企画時の十分な確認が必要。バタフライガーデンでは蝶の観察会、ドッグランでは5月と11月の2回ドッグスクールを実施し、特徴ある施設の活用とともに、施設の周知促進を図った。</p> <p><b>2 公園づくり事業</b><br/>         あやめ池公園駐車場の整備に加え、散策道の整備・ベンチの増設を実施。長和田地区の未活用地の整備も計画通り実施。</p> <p><b>3 ウォーキングの実施</b><br/>         コロナで休止していた健康散策ウォーキングを4年ぶりに開催 5月137名、11月87名参加<br/>         内容としても好評だった。秋は他の大会との日程重複が避けられず集客に課題。その他SDGsクリーンウォークも10月に実施したほか、他団体主催のウォーキング大会にも積極的に協力した。</p> <p><b>4 共同企業体との連携事業</b><br/>         公園づくり事業において駐車場の整備等を実施したことに加えて、生育不良木の更新、あやめ池公園散策道の整備を実施。またイルミネーションも実施したほか、要望のあった南谷多目的広場藤津の水路清掃も前年度に引き続き対応した。</p> <p><b>5 湯梨浜町及び周辺施設との連携事業</b><br/>         ①湯梨浜町 「宙ユリ」の開花の報告を湯梨浜町の町報等で紹介いただいた。<br/>         ガstroノミー、天女ウォーク、ベテラン卓球大会等町の主催事業に協力。<br/>         ②造園建設業協会中部支部 「花と緑のフェア」をあやめ池公園で4年ぶりに開催。多くの来場者(1,200人)でにぎわった。造園建設業協会設立50周年記念植樹をきりん公園内で実施<br/>         ②燕趙園との連携 10月(859人)及び3月(889)人に燕趙園を会場に共同イベントを実施。天候の影響もあり前年度に比べると減少。<br/>         ④その他連携 東郷池めだかの会事務局として自然観察会、環境学習会などを実施。NPO未来とはウォーキング大会の広報等や、公園を利用した例会・大会への協力等で連携</p> |
|---|--|

### 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区 分            | 4月  | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|----------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A   | 30,000  | 36,000 | 33,000 | 25,000 | 24,000 | 26,000 | 37,000 | 29,000 | 21,000 | 15,000 | 22,000 | 26,000 | 324,000 |
| 令和5年度実績(人) B   | 23,034  | 27,527 | 32,040 | 23,420 | 24,489 | 24,908 | 32,351 | 26,710 | 26,062 | 18,945 | 20,286 | 26,756 | 306,528 |
| 対目標比率(%)C=B/A  | 76.8%   | 76.5%  | 97.1%  | 93.7%  | 102.0% | 95.8%  | 87.4%  | 92.1%  | 124.1% | 126.3% | 92.2%  | 102.9% | 94.6%   |
| 令和4年度実績(人) D   | 24,297  | 29,734 | 26,168 | 17,398 | 17,884 | 19,652 | 28,957 | 21,062 | 17,082 | 11,853 | 14,147 | 17,536 | 245,770 |
| 対4年度比率(%)E=B/D | 94.8%   | 92.6%  | 122.4% | 134.6% | 136.9% | 126.7% | 111.7% | 126.8% | 152.6% | 159.8% | 143.4% | 152.6% | 124.7%  |
| 入園者の推移、増減要因    | <p>・有料施設利用者 77,662人(対前年129%)、体育館利用者はコロナ前(R1)を上回った。大会の観客等利用者の増、展示会の開催等が要因。一方トレーニングルームは人数制限、近隣の競合ジムの増加などの影響によりコロナ前の6割に留まっている。<br/>                 ・無料の公園利用者 228,866人(対前年125%) 前半は天候等の影響か伸び悩んだが、夏以降回復。暖冬により12~2月に大幅増、3月はスポーツセンター利用で大型の写真展が開催され大幅増</p> |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |         |

# 令和5年度事業実績報告書

## 【 中国庭園 燕趙園 】

### 1 事業概要

| (主な取り組み)   | (主な取り組みに対する結果等の評価及び課題と対応方針)  |
|--|--|
| <p><b>1 中国庭園の魅力発信</b></p> <p>①中国雑技ショー、チャイナドレスレンタルなど定番の魅力の継続発信、利用促進に取り組む<br/>とともに漢服レンタルの開始準備を行う。</p> <p>②中国関連団体の鳥取県及び燕趙園訪問があり、本部を中心に行程をサポート、中国との交流推進を行う。</p> <p>③地元小学校の事業として燕趙園体験プログラムを実施、中国文化に触れる機会を提供した。</p> <p>④中国獅子舞、カンフー演武、中国雑技ショーなど中国文化の理解を深める催しを実施。</p> <p>⑤職員のチャイナ着用など五感で感じる中国を演出。</p> <p><b>2 周辺施設等との連携事業</b></p> <p>①新日本海新聞社との夏催事「世界の昆虫展」を開催。</p> <p>②・中華コスプレ大会(5月、10月)、山陰未来ウォーク(6月)、ガストロノミーウォーク(9月)、天女ウォーク(10月)、100kmウォーク(11月)など地域連携を促進、地域への誘客を図った。</p> <p>痛車イベントに新たに周辺団体と取り組む。</p> <p>③「東郷湖を守り育てるアダプトプログラム」に参画。</p> <p>④臨海公園との共同事業を継続して実施。</p> <p><b>3 道の駅活用促進</b></p> <p>①春、秋に道の駅感謝祭にてはたらくるま、こども免許証づくりなど地域に協力いただき利用促進を図った。またその際は、県中部への折込広告にて周知を図る。</p> <p>②老龍頭では、夏期にスイーツメニューを強化、地元誘客を図る。</p> <p><b>4 情報発信と営業の充実</b></p> <p>①情報発信担当職員を3名配置、ホームページやツイッターでタイムリーな情報発信を</p> | <p><b>1 中国庭園の魅力発信</b></p> <p>①チャイナドレスレンタルは売上1,551千円(対前年99%)と堅調に推移、漢服を追加し、魅力を付加する。</p> <p>②龍踊りなど地元団体による中国文化の発信ができたが、団体のバリエーションをさらに広げていきたい。</p> <p>③中国関連の展示会等のコンテンツ誘致が課題。</p> <p><b>2 周辺施設等との連携事業</b></p> <p>①R5年度は「世界の昆虫展」(入園13,782人)を実施。枠組みを変えながら県中部夏休み期間に子ども向け催事を継続させたい。</p> <p>②地域の大会の多くは、実行委員会のメンバーとして、また事務局として参加。地域連携を推進する。</p> <p>③地域のアダプトプログラム参画により広く地域との連携強化を図る。</p> <p><b>3 道の駅活用促進</b></p> <p>①春2000人、秋2000人集客。だらずプロレスなど新たな取り組み+定番催事として実施。内容ブラッシュアップ、継続が必要。</p> <p>②R4年度、売店39,406千円(対前年113.5%)、老龍頭13,654千円(対前年104.3%)両売店合わせて(対前年+5,254千円)。一層の知名度向上。地元産の農産物、生鮮品の強化が課題。</p> <p><b>4 情報発信と営業の充実</b></p> <p>①情報発信の発信者の増、またSNS発信に係る研修により研鑽を積む。</p> <p>②アンケート集計により、年代別上位は20歳代18.2%、0歳代16.9%、50歳代15.6%となっており70歳代以上は4.5%と最も少ない。県別では鳥取22.4%、岡山14.1%、兵庫12.1%、大阪10.3%、島根10.0%。<br/>地元はチラシ効果の児童。県外には夏催事のユーチューブ広告、番組内広告(有料取材)を行う。夏季イベントは旅館からの集客が多く、広報範囲の拡大を検討する。</p> |

### 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区分              | 4月   | 5月     | 6月     | 7月    | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計      |
|-----------------|--|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 令和5年度目標(人) A    | 4,000  | 6,000  | 4,000  | 7,000 | 18,000 | 4,000  | 5,000  | 5,000  | 3,000  | 2,500  | 2,500  | 4,000  | 65,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 3,634  | 7,083  | 4,259  | 5,734 | 11,347 | 4,799  | 5,680  | 5,129  | 3,081  | 2,435  | 3,091  | 4,875  | 61,147 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 90.9%  | 118.1% | 106.5% | 81.9% | 63.0%  | 120.0% | 113.6% | 102.6% | 102.7% | 97.4%  | 123.6% | 121.9% | 94.1%  |
| 令和4年度実績(人) D    | 3,243  | 6,936  | 4,131  | 6,475 | 10,761 | 3,931  | 5,871  | 5,649  | 2,948  | 1,858  | 2,503  | 5,079  | 59,385 |
| 対4年度比率(%) E=B/D | 112.1%   | 102.1% | 103.1% | 88.6% | 105.4% | 122.1% | 96.7%  | 90.8%  | 104.5% | 131.1% | 123.5% | 96.0%  | 103.0% |
| 入園者の推移及び増減要因    | <p>団体客により堅調に推移。</p> <p>・4月・5月 GW期間中の4月減、5月に入園が集中。アフターコロナによる後押しもあった。</p> <p>・6月 団体利用の増。修学旅行の減。</p> <p>・7月 夏イベント日数減(6日減)</p> <p>・8月 夏季イベントによる入園者増。</p> <p>・9月、10月、11月 団体が回復基調、イベントによる集客増。</p> <p>・12月 イベントによる集客増</p> <p>・1月 天候、団体、イベントによる集客増。</p> <p>・2月 団体による集客増。</p> <p>・3月 個人客中心で堅調に推移。</p> |        |        |       |        |        |        |        |        |        |        |        |        |

# 令和5年度事業実績報告書

【鳥取二十世紀梨記念館】

## 1 事業概要

(主な取り組み)

梨に関する産業、歴史及び文化への県民理解を深めるとともに、観光及び果樹振興に資するための取り組みを実施。

昨年一昨年と実施した夏の展示について、内容を新たに開催したほか、コロナ以降見送っていた食育イベントを6月より再開。夏休みの自由研究教室については新規内容も追加して開催した。また食べ比べをはじめとする入館者増対策、ネット通販の販売増対策についても過去の反省を踏まえ、様々な策を試しながら取り組んだ。

### 1 魅力発信

- ① 時季を問わず、一年中3品種の梨の食べ比べができることをセールスポイントとして集客促進を行った。
- ② 館内イベント等の旬の情報を、必要としている人の目に触れやすくするために、内容によってはHPや各種SNS等情報発信先を選択し、随時配信した。
- ③ 梨の旬の時期に伊吹春香イラスト展「梨と私の12ヶ月」を開催。岡山市内エリアに情報をしぼったチラシを作成し、新聞折り込みを実施した。

### 2 イベントの充実

- ① 毎月最終日曜日に開催する無料感謝デーを継続実施し、入館者増加及び地域貢献に努めた。
- ② 子どもも楽しめるよう多様なイベントを開催し、魅力向上に取り組んだ。
- ③ 梨ガーデンにおいて、梨狩りなど直接梨に触れる体験学習イベントを開催した。
- ④ 地元のイラストレーターとのコラボした展示イベントを開催した。
- ⑤ プチイルミネーションを実施した。
- ⑥ 小学校の授業や地域活動の一環として、梨に関する出前講座を実施した。

### 3 梨農家支援の充実

- ① 「鳥取梨づくり大学」の開講を継続して専門知識の普及を図った。
- ② 「梨のなんでも相談室」を常設して技術専門員が対応した。

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

### 1 魅力発信

- ① 大きなアピールポイントとなっており、集客促進に寄与した。また「梨漫遊記」と題し、3品種のうち1品種を他県の梨とした食べ比べイベントを実施(4日間で2,597人)。特別編として1月上旬に氷温貯蔵した県産梨(二十世紀梨)の食べ比べを実施(5日間)、シーズン外で実施することで話題作りとなった。
- ② SNSによるタイムリー且つこまめな情報発信により、梨の食べ比べ、販売梨、イベント情報に加え、何気ない一コマや館内の様子を地道に情報発信しフォロワー数が増加した。SNSの特性を活かし、近隣施設や、県内外の関連施設、生産者、作家・アーティスト等とも繋がりができはじめている。
- ③ チラシ持参で、入館料割引と梨ソフト割引の特典をつけたことにより188件の利用があった。

### 2 イベントの充実

- ① 無料感謝デーは通年で12日開催し、15,300人の入館者(対前年2,416人増)となり、地域イベントとの相乗効果があり、地域に定着した日となっている。
- ② 体験型ワークショップ(3,436件参加)を中心に実施し来館者の満足度向上に貢献した。
- ③ 交配体験、摘果・小袋かけ、大袋かけ、梨狩り体験を実施し、ガーデンでの梨を育てる体験イベント全体で400人の参加があった。
- ④ 展示テーマで「梨づくりの1年」とし取材に基づいたリアルなイラストに、生産の関係者から「これを本にするべき」との声をいただくほど好評だった。またコラボグッズの販売など収入面でも効果が出た。(販売額が702千円)
- ⑤ 寒くなく、昼間に見られるプチイルミネーションとして実施。館内の演出照明を活かしながら回廊等を装飾した。併せて、キッズコーナーにキューブ型オブジェを設置し、子ども達が楽しむ姿が多く見られた。
- ⑥ 現地(親木梨管理地)及び小学校で梨に関する学習会を実施した。(小学3年生約40人)

### 3 梨農家支援の充実

- ① 「鳥取梨づくり大学」を年12回開催、64人の入学者(内新規に31人)があり、梨生産農家や新規就農希望者に対して専門知識を普及するとともに情報交換の場を提供した。
- ② 「梨のなんでも相談室」で梨栽培の技術相談を受けることにより、梨農家等への支援に貢献した。

## 2 入館者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区分              | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A    | 6,000  | 10,000 | 8,000  | 9,000  | 18,000 | 13,000 | 12,000 | 12,000 | 5,500  | 5,500  | 7,000  | 9,000  | 115,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 8,346  | 11,287 | 7,822  | 10,943 | 20,476 | 13,863 | 10,962 | 10,744 | 6,427  | 6,549  | 8,598  | 11,633 | 127,650 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 139.1% | 112.9% | 97.8%  | 121.6% | 113.8% | 106.6% | 91.4%  | 89.5%  | 116.9% | 119.1% | 122.8% | 129.3% | 111.0%  |
| 令和4年度実績(人) D    | 5,279  | 8,561  | 6,664  | 8,104  | 15,369 | 11,109 | 10,026 | 10,231 | 6,134  | 4,107  | 6,383  | 9,977  | 101,944 |
| 対4年度比率(%) E=B/D | 158.1% | 131.8% | 117.4% | 135.0% | 133.2% | 124.8% | 109.3% | 105.0% | 104.8% | 159.5% | 134.7% | 116.6% | 125.2%  |

#### 【推移】

・月単位では前年比104.8%~159.5%と毎月、対前年増加が続き、年間で127,650人の入館者となり、前年比では25,706人の大幅増(125.2%)となった。

#### 【要因】

・コロナ5類への移行もあり観光需要は回復傾向で、個人客(個人利用、小団体利用)が大幅に増加した(対前年11,399人増)。  
 ・無料感謝デーについても、年間15,300人の入館者で対前年2,416人の増加となった。又コロナ禍で極端に減少していた外国人観光客も8,601人と急激に回復傾向となり、対前年では6,507人の大幅増となった。  
 ・食べ比べ、ワークショップ、梨狩り体験イベント等の事業についても、通常開催できたことが入館者増にも繋がった。

入館者の推移、増減要因

# 令和5年度事業実績報告書

【 夢みなとタワー 】

## 1 事業概要

(主な取り組み)

### 1 地域との連携と観光振興

コロナ過も明け、大型イベント等も積極的に開催

- ①春休みの大型イベントについて、単独主催で「ダンボール遊園地」を開催。
- ②日本海新聞との夏の連携イベントとして「旅する光の切り絵展～くうそうって、まほうだよ～」を開催。
- ③地域のこどもの遊び場として、貸館予約がない日の多目的ホールを無料開放。
- ④「いいじゃんプロジェクト」と連携し、「にゃんにゃんフェスタ」「えほんマルシェ」を開催。
- ⑤夢みなと公園まつり実行委員会の一員として春・夏に「公園まつり」を開催。
- ⑥境港青年会議所の主催する「さかい夢みなと朝市」と連携した早朝開館を実施
- ⑦(社福)境港社会福祉協議会と協力し、「夢みなとこどもまつり」の代替イベントの展示会を開催。

### 2 施設の魅力アップへの積極投資

次期指定管理の内定後は、積極的な設備投資を実施。

- ①3F民族衣装コーナーにトリックアートによるフォトスポットを新設。
- ②4F企画展示室は、LED照明への更新により照度のアップと消費電力削減を実現
- ③修繕や備品購入等も積極的に実施。

### 3 次期指定管理の応募に向けた取り組み

- ①指定管理専門のコンサルの力を借りし、防衛側の立場を活かした事業計画書の作成と提案を実施

### 4 1F免税店の破綻処理と後継の確保

- ①(株)永山の破綻の対応と、後継の募集・選定・契約を実施

(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)

### 1 地域との連携と観光振興

- ①春の「ダンボール遊園地」では単独主催であっても共催時と遜色のない3万人の集客に成功し、収益は大幅に増えた。
- ②夏の「旅する光の切り絵展」では、例年の家族連れだけでなく中高年にも訴求し、幅広い層の集客に成功し4万人を集めた。
- ③多目的ホールの無料解放は地域の子育て家庭に定着したほか、放課後デイサービスや保育園の遠足など、団体での利用も増えてきた。
- ④定着してきた「にゃんにゃんフェスタ」に加え、「えほんマルシェ」も初開催。秋・冬の2回開催で多くの来場があった。
- ⑤クイズ&スタンプラリー、こども縁日を開催し、夢みなと公園一帯への集客や周遊を促す効果があった。
- ⑥「さかい夢みなと朝市」と連携した多目的ホールの早朝解放では、朝から多くの家族連れで賑わった。
- ⑦例年夏休みに開催していた「夢みなとこどもまつり」は中止となったが、2～3月に掛けて絵の展示会という形で代替開催をすることができた。

### 2 施設の魅力アップへの積極投資

コロナ禍における運営も3年目となり、運営ノウハウも蓄積されてきたことから、1年を通じて、その時々

- 状況に応じた集客イベント等を実施することができた。
- ①3F民族衣装コーナーの滞在時間が増えて、満足度の向上につながっている。
  - ②地元のエクササイズ教室の会場として安定利用を獲得し稼働率が上がった
  - ③老朽化の目立っていた備品類の更新の他、ロボット掃除機や館内温度センサーなどIoTの導入も行った。

### 3 次期指定管理の応募に向けた取り組み

- ①県外大手との競合となったが、新規性と堅実性でともに高い評価を得て受託につなげることができた。

### 4 1F免税店の破綻処理と後継の確保

- ①(株)永山の破綻があったが、速やかに同業他社へのコンタクトを取って手続きを進め、年度内のスムーズな開業を実現した。

## 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区分                | 4月     | 5月     | 6月    | 7月     | 8月     | 9月     | 10月   | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|-------------------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A      | 9,000  | 9,000  | 6,000 | 15,500 | 22,000 | 5,500  | 5,000 | 6,000  | 6,000  | 3,000  | 2,000  | 11,000 | 100,000 |
| 令和5年度実績(人) B      | 16,783 | 12,312 | 4,534 | 16,113 | 32,752 | 4,742  | 3,927 | 6,904  | 6,162  | 2,273  | 3,976  | 11,920 | 122,398 |
| 対目標比率(%) C=B/A    | 186.5% | 136.8% | 75.6% | 104.0% | 148.9% | 86.2%  | 78.5% | 115.1% | 102.7% | 75.8%  | 198.8% | 108.4% | 122.4%  |
| 令和4年度実績(人) D      | 1,982  | 3,817  | 5,511 | 10,256 | 15,677 | 4,351  | 4,224 | 4,663  | 5,158  | 1,911  | 1,886  | 13,104 | 72,540  |
| 対令和5年度比率(%) E=B/D | 846.8% | 322.6% | 82.3% | 157.1% | 208.9% | 109.0% | 93.0% | 148.1% | 119.5% | 118.9% | 210.8% | 91.0%  | 168.7%  |

入館者の推移、増減要因

【対目標比】122.4% 【対前年比】168.7%

春のダンボール遊園地と夏の光の切り絵展の大成功により、入館者を大きく増やした。また、わんにゃんフェスタやフリマといった中型イベントの開催に加え、あらたに絵本マルシェを開催するなど、地域団体との共催も順調に増えており、新指定管理期間中に行う「夢みなとにぎわいプロジェクト」への道筋もつけることができた。

一方で、個人客(特に観光客)は、R1の水準は超えているものの他のセグメントと比べて伸び悩んでいる。R6年度は水木しげる記念館のオープンを起爆剤とした水木ロードへの入込増が期待されていることから、水木ロードから夢みなと公園への立ち寄りを促す取り組みを行う。

# 令和5年度事業実績報告書

## 【とっとり花回廊】

### 1 事業概要

|   |  |
|---|--|
| <p>(主な取り組み)</p> <p><b>1 植栽</b></p> <p>①「Memory」をテーマに、忘れられない大切な思い出となるような、年齢問わず楽しめる空間を演出する展示を実施した。初夏には花回廊オリジナルクレマチスの展示、名称募集を行った。夏は食虫植物展の場所を南館からプロムナード橋へ変更し、太陽の下でよりイキイキとワイルドな姿を見ていただくような展示を行った。また県内産切り花を用いて10月はシンテッポウユリとアスター、11月はストックの切り花展を開催した。</p> <p><b>2 催事</b></p> <p>①日本植物園協会、高知県立牧野植物園の協力のもと「牧野富太郎展」を開催した。秋には県内の多肉生産業者の協力のもと多肉パラダイスを初開催し、多肉植物の寄せ植えを多数展示、販売会や講演会を実施した。</p> <p>②フラワーイルミネーションは昨年度に引き続き米子高専と共同研究に取り組み、学生によるAI技術を取り入れた体験型イルミネーションで美しさと楽しさを演出した。</p> <p>③地元団体等による駐車場利用でのイベント開催に協力し、音楽イベント、高校生アマチュアバンド選手権、農機具展示会の利用があった。また、4年ぶりに開催されたなんぶ町民花火大会の実施会場として協力し夏期の集客力向上に貢献した。</p> <p><b>3 広報</b></p> <p>①春の繁忙期や冬季のイルミネーションの時期にはTVCMの実施や番組誘致、新聞折込チラシを中心にイベント告知や花のみどころ情報の発信に努めた。また日本テレビ「ZIP!」やTBSテレビ「マツコの知らない世界」などの全国ネットの番組への広報素材の提供をおこなった。</p> <p><b>4 営業</b></p> <p>①新型コロナウイルス5類移行後、回復が見込まれる外国人観光客の受入れのため、8月には台湾、10月には韓国での現地商談会に参加し旅行会社へセールスを積極的に行った。</p> <p><b>5 交流事業</b></p> <p>①南部町が実施する成人式や富有の里マルシェ、誕生祝い事業など各種企画に協力した。また、米子タカシマヤと連携し、バラの出張販売など様々な企画を実施した。広島マツダスタジアムで米子市観光協会などとともに県西部のPRや牛骨ラーメンを販売し施設および周辺観光等の魅力発信を行った。</p> <p>②包括連携協定を締結している米子高専とは、県内間伐材のベンチの寄贈、イルミネーションの共同研究、デジタル教室の開催、授業での学生への課題提供(アンケート回答システムの開発)など様々な分野で連携を図った。</p> <p><b>6 売店・レストラン・屋台</b></p> <p>①レストランでは県産サーモンを使用した「サーモンとイクラの親子丼」を開発・提供するとともに、積極的に団体客の受け入れも行った。売店では25周年に向けたオリジナル商品を多数充実させメモリアルイヤーの機運を高めた。</p> | <p>(主な取り組みに対する結果の評価及び課題と対応方針)</p> <p><b>1 植栽</b></p> <p>①年間テーマに沿って県内産の花壇苗を植栽し季節ごとに移りかわる花々の彩りの瞬間を五感で楽しみ、お客様の思い出に残るような展示を実施した。<br/>花の丘、ヨーロッパガーデンにおいて連作障害による生育不良が発生しており、堆肥を入れるなど土壌改良に取り組んでいる。</p> <p><b>2 催事</b></p> <p>①新たな試みとして「牧野富太郎展」や多肉パラダイスなど花にまつわる様々なイベントや展示会を実施し、新規顧客の開拓に取り組みとともに花き振興に貢献することができた。</p> <p>②イルミネーション期間中に約55,000名の来園があり、AI技術を取り入れた音声認識で色が変わる西館テラスのアイアンツリーや水上花壇を中心に来園者の評価が高かった。水上花壇はデジタル教室に参加した小学生9名デザインによる点灯パターンを採用し地域一体でイルミネーションづくりが出来た。</p> <p>③様々なイベントの開催に協力し、花回廊のPR及び集客につなげた。なんぶ町民花火大会では4,000名の来園があった。</p> <p><b>3 広報</b></p> <p>①繁忙期の春や冬のイルミネーションにあわせてTVCMなど積極的に宣伝活動に取り組んだことが誘客につながった。新たな取組みとしてTVの見逃し配信(TVer広告)への広告出稿やSNSを有効活用し若年層の誘客を図った。</p> <p><b>4 営業</b></p> <p>①営業活動によりインバウンド客は1万人を超え前年度比458%と大幅に増加した。国内の団体も116%と増加した。</p> <p><b>5 交流事業</b></p> <p>①地域連携として南部町や地元企業と様々なイベントに取り組み地域の活性化に寄与した。今後も様々な形で園外への出店活動を継続し地域との交流を図っていく。</p> <p>②イルミネーションの点灯プログラミングなど小学生向けデジタル教室を4回開催し、家族で学んで楽しめるイベントが出来た。またイルミネーションの共同研究では研究に参加した学生が取材されるなどマスコミにも多く取り上げられ集客とともにPR効果もあった。</p> <p><b>6 売店・レストラン・屋台</b></p> <p>①コロナ禍以降、団体食事受け入れ施設が減少する中で、県内外の旅行客の団体食を受け入れることで県西部地区の観光振興に寄与した。<br/>ただしレストランは慢性的な人材不足でそれを補うために自動発券機の導入などDX化が必要である。</p> |
|---|--|

### 2 入園者一覧表(年間計画、実績)

(単位:人)

| 区 分             | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 計       |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 令和5年度目標(人) A    | 53,100 | 61,600 | 25,300 | 13,300 | 22,000 | 18,200 | 26,500 | 41,700 | 43,700 | 17,100 | 5,500  | 22,000 | 350,000 |
| 令和5年度実績(人) B    | 35,248 | 43,960 | 20,420 | 10,045 | 14,356 | 15,036 | 23,925 | 24,929 | 37,212 | 12,227 | 5,743  | 14,841 | 257,942 |
| 対目標比率(%) C=B/A  | 66.4%  | 71.4%  | 80.7%  | 75.5%  | 65.3%  | 82.6%  | 90.3%  | 59.8%  | 85.2%  | 71.5%  | 104.4% | 67.5%  | 73.7%   |
| 令和4年度実績(人) D    | 38,903 | 47,202 | 20,182 | 8,184  | 12,537 | 12,634 | 24,451 | 32,205 | 32,605 | 12,057 | 4,776  | 21,395 | 267,131 |
| 対4年度比率(%) E=B/D | 90.6%  | 93.1%  | 101.2% | 122.7% | 114.5% | 119.0% | 97.9%  | 77.4%  | 114.1% | 101.4% | 120.3% | 69.4%  | 96.6%   |

#### 入園者の推移、増減要因

【対目標比】73.7% 【対前年比】96.6%  
 目標入園者数に対して2月を除き未達となった。前年比では4月は週末の天候不良と桜の開花時期のズレ、観光キャンペーン終了により減少。5月は野外コンサートなどがあったもののGW期間中の個人客の減により減少。6月はツアーや団体、インバウンド客が好調で増加。7月はツアーや韓国、台湾からの団体やクルーズ船客などにより増加。8月はなんぶ町民花火大会が開催されたことにより増加。9月は多肉パラダイスや駐車場でのイベント効果、韓国、台湾からの団体客により増加。10月は韓国、台湾からの団体やクルーズ船客の来園があったが天候不良により減少。11月は週末の天候不良などにより個人客が伸び悩み減少。12月は週末やクリスマス前後が天候に恵まれたことにより増加。1月は小団体、団体、インバウンドの来園があり増加。2月は天候に恵まれたことにより増加。3月は昨年度桜の開花が早かったことや週末の雪・雨の影響で減少。

# 一般財団法人鳥取県観光事業団 給与等状況報告書

## 1 職員給与の状況（令和5年度）

| 職員数  | 給 与 費      |           |           |            |
|------|------------|-----------|-----------|------------|
|      | 給 料        | 職員手当      | 期末・勤勉手当   | 計          |
| 52 人 | 156,188 千円 | 33,539 千円 | 51,005 千円 | 240,732 千円 |

（注）職員手当は、退職手当、期末手当及び勤勉手当を含みません。

## 2 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況（令和6年4月1日現在）

| 一般職       |           |        |
|-----------|-----------|--------|
| 平均給料月額    | 平均給与月額    | 平均年齢   |
| 272,005 円 | 317,426 円 | 42.3 歳 |

- （注）1 「平均給料月額」は扶養手当等の職員手当を含まない給料のみの平均月額です。  
 2 「平均給与月額」は、給料月額と毎月支払われる手当（期末手当、勤勉手当及び退職手当以外の手当）とを合計したものの平均月額です。

## 3 職員の初任給の状況（令和6年4月1日現在）

| 区 分 | 初 任 給 | 備 考       |
|-----|-------|-----------|
| 一般職 | 大学卒   | 187,300 円 |
|     | 高校卒   | 166,600 円 |

## 4 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（令和6年4月1日現在）

| 区 分 | 経験年数 | 5 年       | 10年 | 20年       | 30年 | 備考 |
|-----|------|-----------|-----|-----------|-----|----|
|     |      |           |     |           |     |    |
| 一般職 | 大学卒  | 217,860 円 | － 円 | 354,200 円 | － 円 |    |
|     | 高校卒  | － 円       | － 円 | － 円       | － 円 |    |

### 参考

|     |        |          |
|-----|--------|----------|
| 9年  | 平均給与月額 | 238,100円 |
| 28年 | 平均給与月額 | 385,600円 |

5 職員手当の状況（令和6年4月1日現在）

| 区 分                                      | 内 訳  |            |              |
|--|--|------------|--------------|
| 期末手当<br>勤勉手当                             | 〔支給割合〕   |            |              |
|  | 区 分  | 期末手当       | 勤勉手当         |
|  | 6月期  | 1.00 月分    | 0.70 月分      |
|  | 12月期   | 1.00 月分    | 0.70 月分      |
|  | 計  | 2.00 月分    | 1.40 月分      |
|  | 注 通常時の掛け率を記載                                       |            |              |
|  | 職制上の段階、職務の<br>級等による加算措置 有                          |            |              |
|  | 〔令和5年度実績〕  |            |              |
|  | 支給総額   | 支給職員数      | 1人当たり平均支給額   |
|  | 51,005,919 円                                       | 52 人       | 980,883 円    |
| 退職手当<br>（県の規定に準ず<br>る）                   | 〔支給率〕  |            |              |
|  | 区 分  | 自己都合       | 勸奨・定年        |
|  | 勤続 20 年  | 19.6695 月分 | 24.586875 月分 |
|  | 勤続 25 年  | 28.0395 月分 | 33.270750 月分 |
|  | 勤続 35 年  | 39.7575 月分 | 47.709000 月分 |
|  | 勤続 40 年  | 44.7795 月分 | 47.709000 月分 |
|  | （その他の加算措置）   |            |              |
|  | 定年前早期退職特例措置（ 2%～ 20%加算）                            |            |              |
|  | 25年以上勤続した年齢50歳以上の職員が、定年前勸奨等により<br>退職する場合に加算があります。  |            |              |
|  | 〔令和5年度実績〕  |            |              |
|  | 支給総額   | 支給職員数      | 1人当たり平均支給額   |
|  | 3,383,682 円  | 2 人        | 1,691,841 円  |
|  | （注）1 （ ）内は、勸奨、定年及び早期退職制度による退職者への<br>支給実績を再掲したものです。 |            |              |
|  | 2 退職手当の1人当たり平均支給額は、令和5年度に退職した<br>一般職員に支給された平均額です。  |            |              |
| 時間外勤務手当                                  | 〔令和5年度実績〕  |            |              |
|  | 支給総額   | 支給職員数      | 1人当たり平均支給年額  |
|  | 6,401,002 円  | 37 人       | 173,000 円    |
| 年末年始手当<br>12/31～1/2の間に<br>勤務を命じられた<br>職員 | その勤務1日につき 2,000円（半日につき1,000円）                      |            |              |
|  | 〔令和5年度実績〕  |            |              |
|  | 支給総額   | 支給職員数      | 1人当たり平均支給年額  |
|  | 96,000 円   | 28 人       | 3,429 円      |

| 区分                     | 内 容                             |   |                             |                 |
|------------------------|---------------------------------|---|-----------------------------|-----------------|
|                        | 対象職員                            | 支 給 月 額                                   |                             |                 |
| 管理職手当                  | 一定の管理または監督の地位にある職員              | 給料表、職務の級、手当区分に応じて定額を支給                    |                             |                 |
|                        |                                 | 本部長、園長、館長                                 | 50,000 円                    |                 |
|                        |                                 | 次長、副園長（とっとり花回廊に限る）                        | 40,000 円                    |                 |
|                        |                                 | 副園長（とっとり花回廊を除く）、副館長、部長、参事<br>シニアマネージャー    | 30,000 円<br>20,000 円        |                 |
|                        | [令和5年度実績]                       |   |                             |                 |
|                        | 支給総額                            | 支給職員数                                     | 1人当たり<br>平均支給月額             |                 |
|                        | 7,420,000 円                     | 16 人                                      | 38,646 円                    |                 |
| 扶養手当<br>(県の規定に<br>準ずる) | 扶養親族として配偶者、子等を有する職員             | ア 配偶者、父母等                                 | 6,500 円                     |                 |
|                        |                                 | イ 満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子            | 10,000 円                    |                 |
|                        |                                 | 15歳に達する日以後の最初の4月1日から22歳に達する日以後の最初の3月31日まで | 1人につき<br>5,000 円を加算         |                 |
|                        |                                 | [令和5年度実績]                                 |                             |                 |
|                        |                                 | 支給総額                                      | 支給職員数                       | 1人当たり<br>平均支給月額 |
|                        |                                 | 6,084,300 円                               | 26 人                        | 19,501 円        |
| 住居手当<br>(県の規定に<br>準ずる) | 住宅を借り受け月額12,000円を超える家賃を支払っている職員 | ア 借家・借間居住者                                | 家賃の額に応じ、<br>最高 27,000 円まで支給 |                 |
|                        |                                 | イ 単身赴任手当受給者で配偶者に居住させるため借家・借間を借り受けている者     | 借家・借間居住者の例によった場合の額の2分の1相当額  |                 |
|                        |                                 | [令和5年度実績]                                 |                             |                 |
|                        |                                 | 支給総額                                      | 支給職員数                       | 1人当たり<br>平均支給月額 |
|                        |                                 | 6,169,800 円                               | 21 人                        | 24,483 円        |

| 区分                       | 内 容                            |   |   |
|--------------------------|--------------------------------|---|---|
|                          | 対象職員                           | 支 給 月 額   |   |
| 通勤手当<br>(県の規定に<br>準ずる)   | 交通機関等を利用し、または自動車等を使用して通勤している職員 | ア 交通機関等利用者  | 次の①または②のうち、支給単位期間当たりの額が低い方の額。<br>①支給単位期間の間通用する定期券の額<br>②通勤21回分の回数券の額<br><最高限度額 55,000 円>                                    |
|                          |                                | イ 自動車等使用者   | 通勤距離に応じ、月額 1,600 円から 50,100 円の範囲内で支給  |
|                          |                                | ウ 特別急行列車等利用   | 1 か月の特別急行料金等の2分の1の額を加算（高速自動車国道等特別料金等については2万円を限度）  |
|                          |                                | エ 駐車料金を負担している場合<br>(パークアンドライド)  | 公共交通機関等及び自動車等に係る通勤手当をともに受けている職員が、公共交通機関の利用に伴って駐車場を利用し、駐車料金を負担することを常例としている場合に、当該駐車料金に相当する額を支給<br><br>(1ヶ月あたり 3,000 円を上限とする。) |
|                          | 〔令和5年度実績〕                      |   |   |
|                          | 支給総額                           | 支給職員数   | 1人当たり<br>平均支給月額   |
|                          | 7,368,284 円                    | 51 人  | 12,040 円  |
| 単身赴任手当<br>(県の規定に<br>準ずる) | 異動等を原因として単身赴任となった職員            | 月額 30,000円+加算額<br>〔加算額〕<br>職員の住居と配偶者の住居の交通距離に応じて、6,000円から58,000円までの範囲で定める額。ただし、100キロメートル未満の場合は加算はなし |   |
|                          |                                | 〔令和5年度実績〕<br>なし   |   |
| 宿日直手当                    | 宿日直勤務を命じられた職員                  | その勤務1回につき 4,400円  |   |
|                          |                                | 〔令和5年度実績〕<br>なし   |   |

6 役員の報酬等の状況（令和6年4月1日現在）

| 区 分   | 報酬月額          | 期末手当                        | 備 考                  |
|-------|---------------|-----------------------------|----------------------|
| 理 事 長 | 340,000 円     | 6月期 1.70 月分<br>12月期 1.70 月分 | 加算率45%               |
| 評議員   | 1日につき20,000 円 |                             |                      |
| 非常勤理事 | 1日につき20,000 円 |                             |                      |
| 非常勤監事 | 1日につき30,000 円 |                             | 理事会出席時は1日につき、20,000円 |

[令和5年度実績]

①常勤役員

| 支給総額        | 支給者数 | 1人当たり<br>平均支給月額<br>(期末手当等を含む) |
|-------------|------|-------------------------------|
| 5,756,200 円 | 1 人  | 479,683 円                     |

②非常勤役員

| 支給総額      | 支給者数 | 1人当たり<br>平均支給月額 |
|-----------|------|-----------------|
| 980,000 円 | 11 人 | 7,424 円         |